

5月号 CASA 新聞

項目	内容
国交省 3がつ住宅着工数前年比横ばい	<p>国交省は、3月の新設住宅着工を発表した。2016年度は97万4137戸で前年度比5.8%増と2年連続で増加した。09年度のリーマンショック以後では13年度の98万7254戸に次ぐ水準。17年3月は7万5887戸（前年同月比0.2%増、前月比7.0%増）と前年比横ばいだが、貸家の増加に伴って総着工数も2月を底に反転した。</p> <p>16年度は持ち家が29万1783戸（前年度比2.6%増）、貸家は42万7275戸（同11.4%増）、分譲住宅が24万9286戸（同1.1%増）、分譲一戸建ては13万4700戸（同6.7%増）で、どれも2年連続で増加した。ただマンションが11万2354戸（同5.1%減）と減少した。</p> <p>持ち家は13年度までの30万戸超から3年連続で30万戸割れが続いているが、貸家は08年度以来8年ぶりに40万戸を超えた。分譲一戸建ても13万8394戸に次ぐ水準だ。2×4も12万3572戸（同7.1%増）で過去最高を記録した。</p>
ノーリツ・トクラス 住設機器事業で業務提携	<p>ノーリツとトクラスは4月に住設機器事業全般に関する業務提携について基本合意を締結した。今後、製品・部品の相互供給や共同開発・配送などで連携していく。</p> <p>国内住設市場は、新設住宅着工の減少やリフォーム関係の競争激化が進む一方、ライフスタイルの変化や価値観の多様化が加速しており、メーカーは幅広い技術に基いた生活提案力の強化や多様な顧客ニーズへの対応が重要となっている。</p> <p>こうした背景のもと、住設分野でそれぞれ独自技術と製品を有する両社は、互いの強みを生かした業務提携の有効性について協議を重ね、共同開発や相互供給、両者のものづくりの特徴を生かし得る範囲での業務提携が効果的として、今回の基本合意書の締結に至った。業務提携内容は、商品及び部品の相互供給・共同開発・生産委託・共同配送などで、今後は商品郡の拡充や競争力ある商品の開発、生産面の協業等の諸施策を検討・推進していく方針。</p>
輸入合板、前月比10万㎡減	<p>2月の内・外産合板供給量は45万2800立方メートルで前年同月比3.6%減（前月比17.6%減）となった。国産合板の生産量は堅調に推移したが、輸入合板の入荷量は2年8ヶ月ぶりに30万立方メートルを声る入荷量となった1月と比べて10万立方メートルほど減少した。17年累計の合板供給量の内外産比率は輸入が国産を上回っている。</p> <p>昨年後半に市中の品薄状態を受けて新規注文が増加した分がまとまって入荷したうえに、年末の通関手続きのずれ込み分が重なって1月の入荷量は30万立方メートルを超えたが、2月の入荷量は1月にまとまった入荷があったことで相対的に減少していたうえ、配船の遅れも重なり大幅減となった。新規入荷分は流通各社とも既存顧客向けが中心で、ほとんどが出荷されているため港頭在庫の水準は高くない。</p> <p>一方、国産合板の生産量は、24万6400立方メートルで同1.7%減（同2.4%増）。このうち、国産針葉樹合板の生産量は23万4000立方メートルで同0.8%減（同2.7%増）となった。生産量はほぼ横ばいで、稼働日数が1月に比べて多かった分だけ生産量も増加した。</p>
2016年度住宅市場動向調査 断熱窓の整備率は6～7割	<p>国交省は、住み替え前後の住宅や世帯、住宅取得に関する資金調達状況を調査する「住宅市場動向調査」について、2016年度の調査結果を公表した。対象は2015年4月～2016年3月に住み替え・建替え・リフォームを行った世帯で、注文住宅は全国で、分譲住宅、中古住宅、民間賃貸住宅、リフォーム住宅は三大都市圏において調査が実施されています。</p> <p>この中で、省エネ設備の整備率について調査が実施されました。これによると、太陽光発電の設置の整備率は、注文住宅39.5%、分譲一戸建て住宅15.1%の水準となった。</p> <p>また、外皮の断熱性能に影響する二重サッシまたは複層ガラスの窓の整備率は、注文住宅が74.6%、分譲一戸建て住宅が61.3%。省エネ基準適合義務化が2020年に控える中、分譲一戸建て住宅では4割近くが未整備の状況であり、開口部の断熱化促進が課題と言える。</p>
2016年度住宅市場動向調査 注文住宅世帯年収が大きく増加	<p>世帯主の平均年齢は、注文住宅（新築）が40.9歳、注文住宅（建替え）が58.4歳、分譲一戸建て住宅が38.9歳となった。年齢別の構成を見ると、注文住宅（新築）と分譲一戸建て住宅では30歳代が最も多く、それぞれ45.3%、50.9%を占めています。一方、注文住宅（建替え）は60歳以上が52.5%と最も多くなっています。</p> <p>平均世帯年収については、注文住宅が690万円、このうち一次取得者は667万円だった。これは、2012年度調査と比べると全体では617万円から73万円増加、一次取得者では579万円から88万円増加と、どちらも大幅に増加した。</p> <p>一方、分譲一戸建て住宅は646万円、うち一次取得者は621万円となりました。2012年度調査との比較では、全体が675万円から29万円減少、一次取得者が653万円から32万円減少と、どちらも減少した結果となった。</p>
表示説明	 値下げ  横ばい  値上げ
市況状況	ラワン薄ベニヤ 
	ラワン正寸 12mmT2 . . . 
	針葉樹 12mm 3x6 . . . 